

## 9・貸切露天風呂でのんびり

ある春の日。午後四時ごろ。

主人公とトワ、今日は結婚一周年を記念して、温泉旅館にやってきた。午後三時ごろに到着し、今は早速露天風呂に入っているところである。

この露天風呂は、もちろん二人の貸し切り。

主人公とトワ、大好きなお風呂に二人きりで入れて、とにかく幸せ。

主人公『自分のお財布にはちよつと辛いところだったけれど、頑張ってここに泊まることにして良かったなあ……』と思っている。

当然トワはそんな主人公の努力を理解していて、本当は泣きそうなほど嬉しい。

が『自分はそういうキャラクターではない……』と思うあまり、いつも通り、明るくえつちに振る舞っている。

二人は温泉の中で、主人公が右側、トワが左側に並んで座っている。

### SE1…露天風呂の環境音

【頭から流してループし、トラック終了まで小さめの音量で流し続ける。】

### ●左

【「ゆっくり目に。とにかく幸せで、身も心もゆるんでいる」

は〜あ♥

い〜い雰囲気♥ですねぇ♥」

〈主人公〉

「うん！ 最高……♥」

### ●左

【「うつとり、ゆっくりめに」

これが世に聞く『しっぽり』ってやつです〜？

【「列挙するうち、どんどんテンションが上がっていく」

あったかいお風呂♥ 気持ちいい空気♥

そして隣には最愛のア・ナ・タ♥

結婚一周年記念に。こんな素敵ところで過ごせるなんて♥

トワは宇宙一幸せなお嫁さんです〜♥

連れて来て下さって♥本当にありがとうございます♥」

〈主人公〉

「わたしも！ トワちゃんと今日を迎えられて嬉しいよ。気に入ってもらえたかな？」

**SE2**…トワが正面に移動する音

【頭から流す。0―3秒ほどまで流す】

●中央

【「テンションが上がるが、声は大きくなり過ぎない】

はい！ 大いに大いに気に入りましたぁ♡

マイフェイバリットです♡

都会の喧騒を離れ、二人を知るものは誰もいない温泉地に一泊二日のお忍び旅行♡

というシチュエーションだけで最高なのに。

今日お泊まりするあのお部屋、やばくありませんっ？

うちより広い。いや、さすがにそれはないか♡

でも広いし♡ 綺麗だし♡ 風情も歴史もあるハイクラスだし♡

【一呼吸置いてから】

そして極め付けはこの！

【とにかく嬉しくてしょうがない】

ふうふのラブラブ貸切露天風呂ですよ♡

最高です♡

トワ。生きてて良かったぁ♡

●中央 至近距離

【主人公の鼻にキスする】

ちゅ♡

だってほら♡

貸切だから♡

こうやって堂々とちゅーできますもんね♡

【唇に、三回軽くキスする】

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

【次第に興奮して、息が少し荒くなる】

はぁ……♡ 好き♡

【少し間を置いてから】

んふふ。トワ。わかってますよ？

アナタが今日も♡ トワが喜ぶ気遣い、いっぱいして下さってること♡

たとえばこの温泉です♡

アナタ、トワの故郷の星があったかい水の星だって聞いてから。

トワを色んな温泉や♥ 銭湯に連れてってくれてますもんね♥

アナタのその優しさのおかげで！ トワは今日も地球でやっていけてますう。

いつも本当にありがとうございます♥

アナタのお嫁さんになれて。幸せです♥

ん♥ ちゅ♥

【※20秒※ ほど、次第に深くなるキスをする】

んう……ちゅっ♥ れろっ……ちゅるっ♥ くちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅぱっ♥

【ねっとり、ゆっくり唇を離す】

ちゅぷっ……♥

ふふ。

トワのベロ、おいしい？」

〈主人公〉

「うん……♥」

●中央 至近距離

「トワもアナタのお口、気持ちいい♥

もっとしょ？」

SE3

…トワが主人公の膝にまたがる音

【途中から流す。5―8秒ほどまで流す】

●上 至近距離

【※20秒※ ほど、次第に深くなるキスをする】

んふ……ちゅぱっ♥ ちゅ、ちゅ、ちゅ♥ くちゅるっ……じゅるっ♥ れろっ♥ ちゅ

ぷっ♥ んんうっ♥

〈主人公〉

「はあ、はあ♥ ふふ♥ トワちゃんに乗っかられちゃった♥」

●上 至近距離

【唇を離して、うっとり】

はあ、はあ……♥ ふふ♥ そおだよ？

こうやって♥ アナタに乗っかってるのが♥ トワの定位位置で♥

【少しでも声のトーンを落として、優しく、少しでも真剣に】

この一年。ここが定位置って言えるくらい。

いっぱいしたね。トワ達♥

次の一年も。いっぱい。いっぱいえっちなしょうね♥

〈主人公〉

「うん……!!」

●上 至近距離

【上機嫌で】

うん♥

【甘えた声で打ち明ける】

あのね♥ トワね。セックス大好きです♥

アナタを感じて。アナタを独占できて。

アナタのこと、いっぱい知れるから♥

アナタがトワの腕の中であんあんする可愛い声も。

優しく抱いてくれる時の、甘い呼吸も……♥

イきそうな時にぎゅっと繋いだ、余裕のない手の感触も♥

全部トワの宝物で、大切な思い出です♥

だいしゅき〜♥

トワ、主人公の右耳へ唇を寄せる。

●右 至近距離

【やわやわ〜】

ねえ♥ 今日も思い出♥ 作りましょうね？

●右

うふふ♥

●中央 至近距離

【軽く、三回唇にキスする】

ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥

主人公、されるがままになっているうち、どんどんえっちな気分になってくる。  
今すぐにでもしたいくらい、高まっている。

〈主人公〉

「あの……♥ トワちゃん……♥ これ以上ここでしてると、わたし……!!」

●中央 至近距離

「甘くからかう」

あは♡ えっちスイッチ入りそうです？

●右 ~~えっちやぐ~~

【~~えっちやぐ~~】

でも、ここだと、冷えちゃうから……♡ 続きはお部屋で♡ しましょっか♡

●中央 至近距離

【軽く一回ギスする】

ちゅ♡  
「♡」

このまま、フェードアウトしてトラック終了。

